

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 3 月の動向

- 広島市総合指数（99.1）は 2 か月ぶりに上昇。前年同月比は 10 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.2）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 11 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.9）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 19 か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.1	0.2	▲1.7
生鮮食品を除く総合指数	99.2	0.2	▲1.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.9	0.3	▲1.7

3 前月からの動き

～被服及び履物は上昇、住居は下落。～

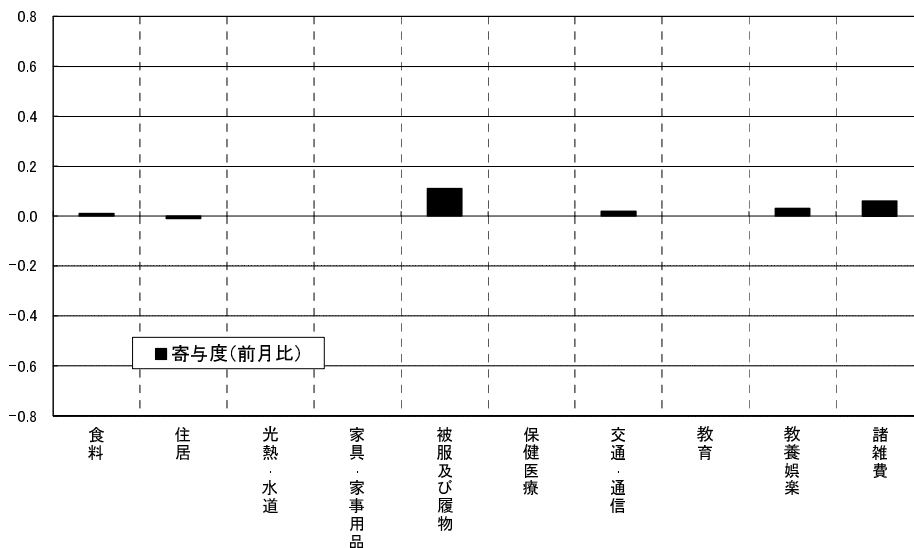
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.1	99.0	99.1	105.5	92.1	99.7	98.5	101.7	98.4	92.0	103.8
前月比 (%)	0.2	0.0	▲ 0.1	0.0	0.1	2.6	0.1	0.2	0.0	0.3	1.0
寄与度	0.2	0.01	▲ 0.01	0.00	0.00	0.11	0.00	0.02	0.00	0.03	0.06

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：洋 服（前月比 5.3%，寄与度 0.10）等
住 居：設備・修繕維持（前月比 ▲ 0.4%，寄与度 ▲0.01）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
洋服 (男子上着 等)	5.3%	飲料 (インスタントコーヒー 等)	▲2.3%
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	3.0%	野菜・海藻 (レタス 等)	▲1.2%
魚介類 (かれい 等)	2.4%	家事用消耗品 (防虫剤 等)	▲2.3%
肉類 (牛肉[国産品] 等)	2.3%	教養娯楽サービス (獣医代 等)	▲0.2%
身の回り用品 (ハンドバッグ[輸入品] 等)	4.8%	教養娯楽用品 (記録型ディスク 等)	▲0.3%

4 前年同月からの動き

～諸雑費は上昇, 食料及び教養娯楽は下落。～

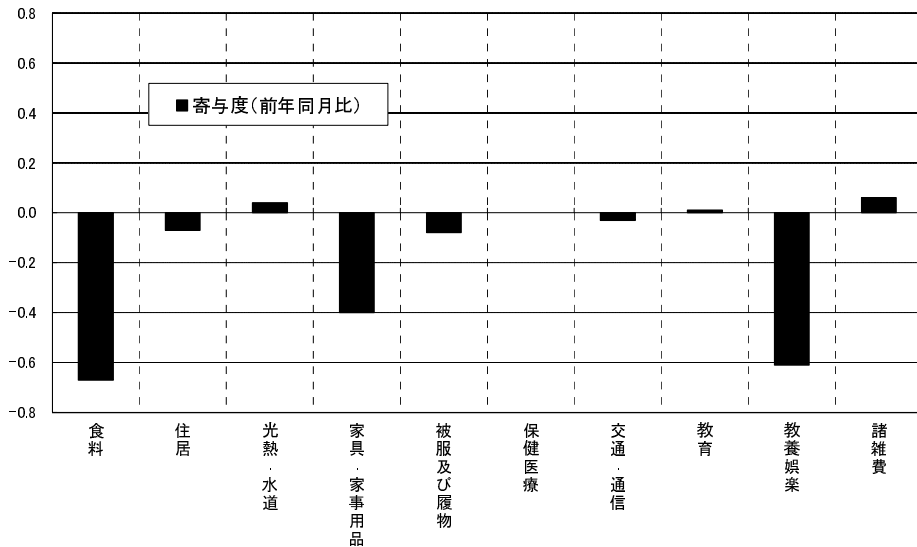
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 1.7	▲ 2.6	▲ 0.4	0.5	▲ 9.8	▲ 1.8	0.0	▲ 0.2	0.2	▲ 5.5	1.0
寄与度	▲ 1.7	▲ 0.67	▲ 0.07	0.04	▲ 0.40	▲ 0.08	0.00	▲ 0.03	0.01	▲ 0.61	0.06

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 諸 雑 費：身の回り用品 (前年同月比 9.2%, 寄与度 0.08) 等
- 食 料：野 菜 ・ 海 藻 (前年同月比 ▲13.1%, 寄与度 ▲0.38) 等
- 教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲16.0%, 寄与度 ▲0.30) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
身の回り用品 (ハンドバッグ[輸入品] 等)	9.2%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲13.1%
肉類 (豚肉 [国産品] 等)	1.2%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲19.7%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	1.2%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲16.0%
自動車等関係費 (自動車タイヤ 等)	0.5%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲3.1%
他の光熱 (灯油 等)	7.2%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲6.7%